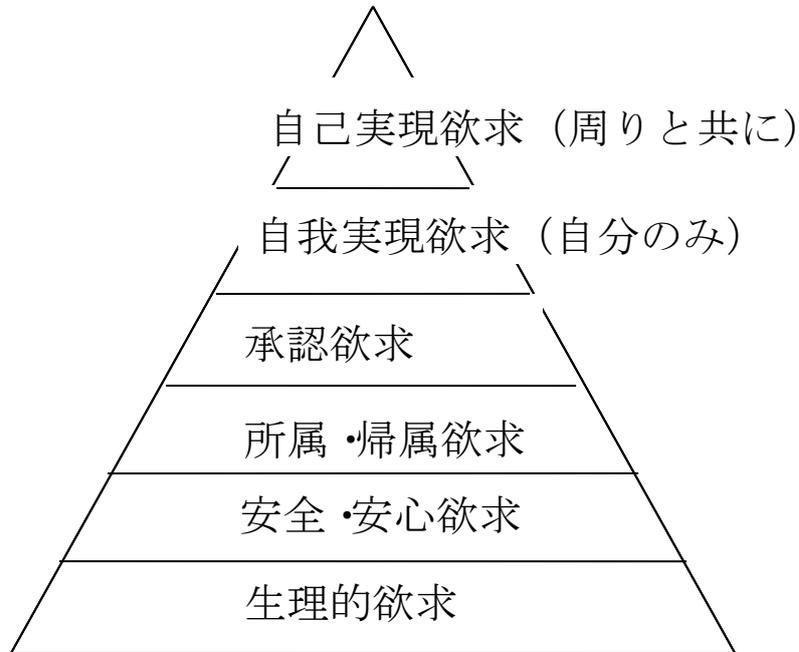


①<「人生」を価値あるものにするための問いかけ>

- 1、何のために「仕事」をするのか。
- 2、何のために「勉強」をするのか。
- 3、何のために「家庭」があるのか。



「どこを目指すか」「何を大切にするか」「日々の自分の行動はどうか」

②<「仕事」「学問」「家庭」の意味：人格形成の三つの柱>

仕事 ・ 学問 ・ 家庭
社会適応性・批判適応性・受容適応性
意思的規範・理性的規範・感性的規範
社会 公共・知性 思考・慈愛 愛情
美 醜 ・ 真 偽 ・ 善 悪

③<人生を価値あるものにするキーワード :おかげさまで思考>

- 1、全体を生かし部分を生かす。(当事者意識)
・・・環境はありのままの自分を映し出す鏡である。
- 2、「無知の知」を知る。(謙虚な心)
・・・運命は出逢いによって変えられる。
- 3、問題は価値を生む源泉である。(アイデンティティの確立)
・・・「真、善、美の統合」が最も価値あるものとなる。
以上の三つの条件が順序よく揃うことが大切なポイント